

# 内視鏡物体計測技術および先端フード

第3内科学 久米恵一郎

## 利用分野

内視鏡先端の物体サイズを容易に計測することが可能な物体計測技術を提供する。

## シーズ

本内視鏡先端フードは、1) 対象物に目盛りを宛がい固定するのが容易である、2) 目盛り専用のワイヤを内視鏡挿入部に出し入れする必要がない、3) 物体像のサイズを正確に算出する、4) 観察対象物の位置合わせが容易である、5) どの内視鏡にも目盛りの取り付けが可能である、などの特徴を有する。



## ニーズ

医療分野では、咽頭、食道、腸などの消化管内に発生した腫瘍、腫瘍等の病変組織の検査において、内視鏡を用いて病変組織の位置を特定し、そのサイズを計測することによって、その切除の要否を判断する。このため、内視鏡の遠位端にある物体のサイズを計測する技術が必要とされている。

## 連携分野

臨床研究により、試作品の有効性は確認済みであり、内視鏡フードの製造・販売実績があれば、製品化は容易である。



## 知財保護

意匠第1472204号

内視鏡フードの技術移転の実績があります



本学マスコットキャラクター  
ラマティー